

令和8年度 佐賀市立新栄小学校 教育課程

1 学校教育目標

ともに たくましく 生きる 子どもの育成

2 本年度の重点目標

「いい顔 いい声 いい心」あふれる あしたも行きたい 新栄小

3 重点取組内容

(1)学習指導の充実

◇学習習慣の徹底

- 基本的な学習態度・学習習慣を身に付けさせ、学習意欲の向上を図る。
- ノートの使い方・持ち物等を全校で共通化する。
- 「かつお」を実践し、授業と休み時間のけじめを意識させる。

◇授業方法の工夫・改善

- 校内研を中心とした授業力の向上及び日常指導の充実を図る。
 - ・基本的な指導過程の実践と定着を図る。
「問い・めあて → 解決・活動(考えを書く・話し合う・確かめる) → まとめ・ふりかえり」
- 様々な活動や学習に地域の人材などを活用し、学習の活性化を図る。

◇家庭との連携

- 家庭学習の習慣化ができるようにする。
- 一人1台タブレットパソコンの活用を進め、児童の学びの活性化と向上につなげる。
- 週末の課題を工夫し、学力の定着や意欲の喚起ができるようにする。

(2)生徒指導の充実

- 開発的生徒指導による自己肯定感・自尊感情の高揚を図る。(「出番・役割・承認・称賛」)
 - ・ ぽかぽかカード、給食時間の放送
- 教育相談活動の推進と要支援子ども(家庭)の把握、共通理解・迅速な対応を行う。
- 差別・いじめを許さない、温かく規律ある学校風土・学級風土づくりをする。
 - ・ 「いじめ、いのちを考える日」にかかわる指導の工夫・充実
 - ・ 日頃の子どもの見取りと、毎月末の「にこにこアンケート」からのいじめの未然防止と早期発見・早期対応
 - ・ 教科横断的な性教育や、命の尊重に迫る学級活動・道徳の充実

(3)特別支援教育の充実

- 特別支援学級全体の連携と教室経営の充実、交流学級との連携強化を図る。
- 特別支援教育についての研修の充実を図る。(校内研究含む)
 - ・ 特別支援教育のあり方の理解促進、個に応じた支援体制の構築と支援の強化。
- 子どもの特別支援教育に対する正しい理解を推進する。
 - ・ 交流教育の推進、子ども同士の人間関係の充実
- 多様な子どもの実態に応じ、指導の効率化を図る新しい教育課程を開発する。

(4)地域の教育の充実「コミュニティ・スクール」

- 「社会に開かれた教育課程」(目標～よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る)の実現に向けて、地域と学校の連携・協働を推進する。
 - ・ 「マナーアッププロジェクト」 ・ ゲストティーチャーの活用促進
 - ・ 教育ボランティア活動の充実 ・ 地域人材リストの活用 ・ 町区別の安全指導
- 「まなざし運動」と連携した「新栄ふれあいカード」の活用を推進する。
- 韓国交流事業の協力・支援